



▼ ② 京都府与謝郡与謝野町 (File.11 / 2017年11月号掲載)  
日本三景のひとつ、天橋立。天橋立ビューランドから望む天橋立は、  
竜が天に昇るように見えることから「飛龍観」と呼ばれ、人々を魅了しています



▲ ① 三重県多気郡明和町 (File.4 / 2017年4月号掲載)  
平安時代前期、斎宮の役所だった斎宮寮(さいくうりょう)。  
その跡地に、古代建築の魅力を今に伝える「さいくう平安の杜」が再現されました

# 日本の源流 再発見



## 傑作選

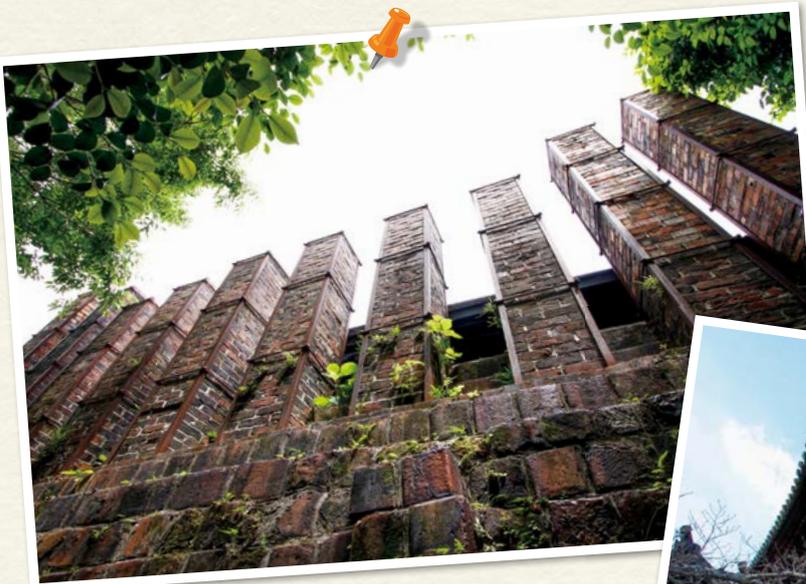
日本各地に点在する歴史的な「日本の源流」をたどり、その文化・伝統を紹介する本コーナーは、2017年1月号の連載開始以来、38回を数えます。これまで文化庁に認定された「日本遺産 (Japan Heritage)」から、いくつものストーリーを取り上げてきました。令和2(2020)年度には、新たに21のストーリーが文化庁に認定され、その数は104件\*に。今号は、今まで訪れた地域の中から、特に印象深かった場所を編集部がセレクトし、写真とともにご紹介します。

※2021年2月8日現在

▼ ③ 岡山県倉敷市 (File.15 / 2018年3月号掲載)  
国内屈指のジーンズ産地として知られる、倉敷市。  
その歴史をひもとく「ジーンズミュージアム」には体験型工房などもあり、話題のスポットに



▲ ④ 岐阜県岐阜市 (File.19 / 2018年7月号掲載)  
長良川で約1300年前から行われていたという「鵜飼」。  
鵜匠という呼称は、当時、鵜飼を振興していた織田信長が  
付けたと伝えられています

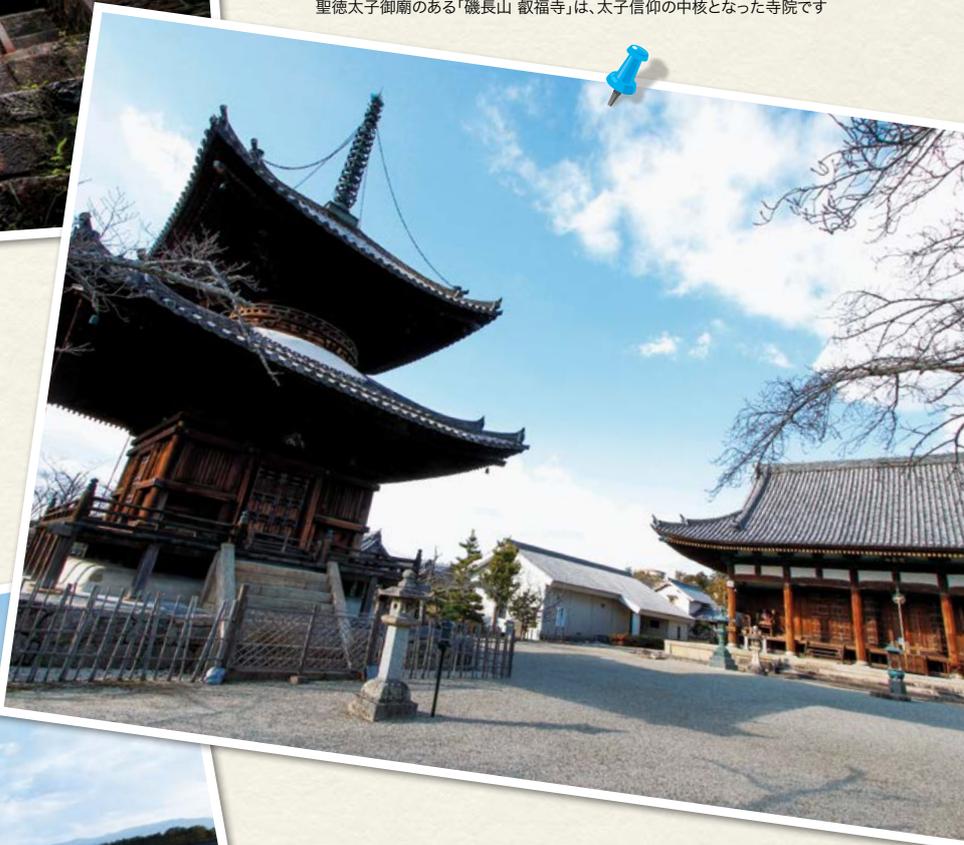


▲ ⑤愛知県常滑市 (File.21 / 2018年9月号掲載)

日本六古窯のひとつである常滑焼の産地・常滑市。  
レンガ煙突が残る独特の町並みが形成され、なかでも  
「陶楽窯」は、国内現存の登窯としては最大級

▼ ⑥大阪府南河内郡太子町 (File.27 / 2019年3月号掲載)

太子町は、多くの天皇や皇族の御陵が存在する古代ロマンあふれる町。  
聖徳太子御廟のある「磯長山 叡福寺」は、太子信仰の核となった寺院です



▲ ⑦和歌山県和歌山市 (File.28 / 2019年4月号掲載)

和歌山市・南西部に位置する「和歌の浦」。  
その景観を詠んだ和歌は、万葉集にも収められ、和歌の聖地  
として古来歌人たちの憧れの地でした

▼ ⑧長野県木曾郡南木曾町、上松町、木曾町

(File.32 / 2019年11-12月号掲載)

江戸時代の趣を色濃く残す、中山道の石畳。  
木々の間を縫う山道の下には、せせらぎが流れ、往時の旅人たちの  
足跡を彷彿(ほうふつ)とさせます

